

1 総務課

(1) 事業執行概要

協会本部としての総合的な企画調整機能及び経営管理体制の充実強化を図り、各施設等との連携により、協会の自主自立経営に向けた取組に努めた。

なお、次の事項を重点事業として実施した。

- ア 適正な法人会計処理の推進、財産の適正運用等の財務管理の充実
- イ 施設の建替整備計画に基づく、清風園建替工事の着手及び桜ふれあいの郷移転整備候補地の絞込み
- ウ 平成27年度からの社会福祉法人新会計基準への円滑な移行に向けた計画的な準備
- エ 各課・事業等における適正な人員配置と給与制度の適正管理
- オ 活力ある組織（職場）づくりと職場環境の調整
 - ・職員研修の充実
 - ・定期健康診断、生活習慣病検診事業の実施及び人間ドック、脳ドック等助成事業の実施
 - ・各種福利厚生事業の実施
 - ・機関紙「かたらい」の発行、ホームページの適宜更新等による広報活動の推進

(2) 事業実績

事業一般

月	業 務 一 般	研 修	そ の 他
4	○第1回課長施設長等会議	○新規採用職員研修	
5	○平成25年度決算監査 ○第58回理事会 ○第46回評議員会		○平成25年度職員互助会決算監査
6			
7	○機関紙「かたらい」第84号発行 ○施設等運営指導監査 ○苦情解決連絡会議 ○職員採用試験 (一般職：一般応募者対象：一次・二次)		○職員互助会委員会 (平成25年度事業報告・決算)
8	○施設等運営指導監査	○第1回事務担当者研修	○定期健康診断・生活習慣病検診
9	○第59回理事会 ○第47回評議員会	○新規採用職員研修	○定期健康診断・生活習慣病検診
10	○平成27年度事業計画・施設整備費 等ヒヤリング ○平成27年度事業計画・予算編成		○定期健康診断・生活習慣病検診
11			○定期健康診断・生活習慣病検診

月	業 務 一 般	研 修	そ の 他
12	○平成26年度補正予算編成 ○第2回課長施設長等会議 ○協会職員（永年勤続等）表彰 ○職員採用試験 （一般職・専門職： 一般応募者対象：一次・二次） ○職員身上報告書提出		○定期健康診断・生活習慣病検診
1	○機関紙「かたらい」第85号発行 ○職員身上報告書ヒヤリング ○第60回理事会 ○第48回評議員会		○定期健康診断・生活習慣病検診
2		○第2回事務担当者研修 ○新会計基準移行研修	
3	○第3回課長施設長等会議 ○第61回理事会 ○第49回評議員会	○平成27年度新規採用者事前研修 ○退職準備講座	

2 支援業務課

とちぎリハビリテーションセンター駒生園の利用者支援に係る業務を受託し、以下の項目を推進した。

- ア 利用者個々の能力やニーズに沿った質の高いサービスの提供
- イ 利用者の自立と社会参加を促進するための適切な個別支援計画の作成
- ウ 利用者の個別支援計画に基づく日常生活の支援、機能訓練、生活訓練（高次脳機能障害）及び健康管理等を通じた日常生活動作と社会性の向上
- エ 利用者及び家族等に対する相談支援等
- オ その他、施設の運営方針に付随する業務

3 母子生活支援施設 わかくさ

(1) 事業執行概要

母子の福祉増進や社会的な自立を促進するため、関係機関との連携を強化しながら次の事業を行った。

ア 個別対応職員を配置し、虐待を受けた子どもへの面接、生活場面での対応、母親への援助を積極的に行い、子どもたちが良好な人間関係を築けるよう支援した。

イ 心理療法担当職員による心理面接等専門的援助を行い、母子の心のケア及び社会適応力を高めるための支援を行った。

ウ 母親の就労状況、子どもの疾病等様々なニーズに応じた施設内保育を行った。

エ 就労に向けた支援を強化するため、ハローワーク等を積極的に活用し、求人情報の提供を行うとともに、資格取得の促進に努めた。

オ 保育所及び学校との連携強化、学習室の整備、様々な体験学習等を行い、子どもの健全育成に努めた。

また、母子支援員を中心とした細やかな支援に心がけ、貧困の世代間連鎖防止に向けた支援を行った。

カ 常直体制により、DV被害者に対する安心及び夜間緊急時の利用者支援の強化を図った。

キ とちぎ男女共同参画センター、福祉事務所及び児童相談所との緊密な連携強化を図ることに より、利用者の保護・自立に向けた支援を行った。

ク DV被害等により緊急保護を要するケースについては、栃木県からの委託事業である一時保護事業により積極的に受け入れた。

ケ 第三者評価の結果を受け、自立支援計画等の見直しを図り、検討課題の取組を行った。

(2) 利用者の状況（入所定員 20世帯）

区分	項目 年度	年間延 利用者数		月平均 利用者数		3月31日現在 在籍者数		入 所		退 所	
		25	26	25	26	25	26	25	26	25	26
世帯数（世帯）		222	221	18.5	18.4	19	19	13	14	10	14
家族人員（人）		587	615	48.9	51.2	50	57	35	44	29	37
	母 親	222	221	18.5	18.4	19	19	13	14	10	14
	児 童	365	394	30.4	32.8	31	38	22	30	19	23

(3) 事業実績

事業一般

月	支 援	保 健 ・ 衛 生	防 災 対 策	施設の社会化等
4	○入学祝い			○ホンダ労組ふれあい交流
5				
6	○母親教養講座（第1回）	○健康診断（母親）		○晃宝小学校との連絡会議（第1回）
7	○七夕会 ○納涼大会 （施設機能強化推進事業） ○ラジオ体操			
8	○体験学習（那珂川苑宿泊） （施設機能強化推進事業）			
9			○消防設備保守点検	○福祉事務所との連絡会議（第1回） ○晃宝小学校との連絡会議（第2回）
10	○母と子のつどい（第1回） （むさしの村） ○社会教育活動（清風園見学）			
11	○七五三の祝い ○母親教養講座（第2回） ○食事会 （施設機能強化推進事業） ○ボウリング大会 （施設機能強化推進事業）		○総合防災訓練	○あゆみ北・西が岡保育園との連絡会議 ○福祉事務所との連絡会議（第2回） ○晃宝小学校との連絡会議（第3回）
12	○クリスマス会 ○餅つき （施設機能強化推進事業）	○大掃除		○国本中学校との連絡会議 ○雇用促進連絡会議
1	○書初め会 ○母と子のつどい（第2回） （東京ディズニーランド）			
2	○節分 ○懇親会（サンバレー那須） ○調理訓練	○健康診断（母親・子）		
3	○ひなまつり ○調理訓練		○消防設備保守点検 ○非常用通報装置点検	○貸出図書の整備
定例	○書道教室（毎月1・3水曜日） ○学習支援（月4回） ○英語教室（月2回） ○お絵かきクラブ（月1回） ○誕生祝い（随時） ○母親常会（偶数月） ○母親役員会（奇数月） ○子ども常会（随時） ○施設内保育（随時）	○施設内・近隣清掃 （毎月第3日曜日）	○避難訓練 （毎月第2水曜日） ○消防設備等外観点検 （月1回） ○居室点検（月1回）	○「蒲公英」発行 （月1回） ○学生施設実習（随時）

4	障害児入所施設 障害者支援施設	桜ふれあいの郷
	共同生活援助事業所	ふれあい

(1) 事業執行概要

利用者の自己選択と自己決定及び人格の尊重を基本に、次の事業を重点的に行った。

- ア 生活介護や自立訓練（生活訓練）、就労継続支援等の日中活動及び施設入所支援等について、利用者の状況に応じた支援内容や作業種の見直し検討を行い、質の高いサービスの提供に努めた。
- イ 地域生活への移行支援については、自立訓練（生活訓練）を通して生活習慣及び社会性を身に付けた2名がグループホームへ移行し、1名が就職した。
また、在宅者支援事業により、地域での生活の質の向上を図ることができるよう支援に努めた。
- ウ 在宅障害児・者とその家族の支援について、相談支援事業や短期入所事業、日中一時支援事業により支援を行うとともに、就労や地域生活に関して、職場適応援助者支援事業（ジョブコーチ）や障害者就業・生活支援センター事業を行い、関係機関との連携による職場への定着及び生活の安定向上に努めた。
また、障害児・者が適切なサービスを受けられるように、障害福祉サービス等の利用計画を作成したほか、精神科病院から退院する障害者に対し、地域生活に移行するための支援を実施した。
さらに、栃木県障害者相談支援ネットワーク推進事業を受託し、障害者相談支援協働コーディネーターとして、県北圏域における相談支援専門員に対するスーパーバイズの実施や、相談機関との連携強化を図り、地域相談支援体制の発展拡充に努めた。
- エ 就労継続支援事業においては、利用者が生産したサツマイモ「紅あずま」を原料とした焼酎「郷のかおり」を販売し、これまでの焼酎（3年古酒）に加え、原酒を5年間熟成させた「5年古酒」の販売を開始し、自主製品販売推進委員会を中心に販売促進に努めた。
また、焼き菓子とパンの製造・販売や、「第27回全国健康福祉祭とちぎ大会（ねんりんピック栃木2014）」ユニフォーム等のプリント加工を行い、利用者の工賃向上に努めた。
- オ 衛生管理や健康管理については、医療機関との連携に努めたほか、職員が救命救急講習会を受講することにより、利用者に対し健康で安全、安心できる生活の提供に努めた。
- カ 施設の社会化については、地域住民へのグラウンド・体育館の貸出しを行うとともに、施設体験研修及び交流行事の開催等を行い、地域との交流に努めた。
- キ 建替整備の推進については、「桜ふれあいの郷・清風園の施設建替整備基本構想」に基づき、移転候補地の絞込みを行った。
- ク リスクの早期発見による事故防止と事故発生時の対応等について、危機管理マニュアルを作成して職員に周知徹底を図った。
- ケ 保護者等の協力が得られない利用者については、成年後見制度の活用を推進し、財産管理や身上監護に不利益が生じないように努めた。
- コ 利用者支援の質の向上のため、虐待防止やリスクマネジメントの徹底を図り、職員の資質向上を目的に各種研修を実施した。

(2) 利用者の状況

生活支援施設（利用定員 生活介護150名 自立訓練10名 施設入所支援150名）

(人)

年齢	性別	項目 年度		年間利用者延数		月平均利用者数		3月31日現在利用者数		入所		退所	
		25	26	25	26	25	26	25	26	25	26	25	26
19歳以下	男		24		2.0		2.0		2		2		
	女	12				1.0		1		1			
20～29歳	男	85	84	7.1	7.0	8	7	2				1	
	女	14	12	1.2	1.0	1	1	1		1	1	1	
30～39歳	男	96	79	8.0	6.6	8	7	2	1				
	女	89	72	7.4	6.0	8	6	3					
40～49歳	男	155	180	12.9	15.0	13	15(1)	1	1	1	1	1(1)	
	女	152	156	12.7	13.0	13	13(2)	1				2(2)	
50～59歳	男	262	214	21.8	17.8	22	18	3				1	
	女	117	108	9.8	9.0	9	9	1		1	1	1	
60～69歳	男	245	240	20.4	20.0	19	20				2	1	
	女	275	234	22.9	19.5	23	20	1	1	1	1	1	
70歳以上	男	83	102	6.9	8.5	6	9			1	2		
	女	228	252	19.0	21.0	19(1)	21			1(1)	1	1	
計	男	926	923	77.2	76.9	76	78(1)		8	5	5	4(1)	
	女	887	834	73.9	69.5	74(1)	70(2)	8	1	4(1)	6(2)	6(2)	
合計		1,813	1,757	151.1	146.4	150(1)	148(3)	16	6	9(1)	10(3)		

注) () 内は、3月31日付退所者の再掲。

障害児入所施設（利用定員 障害児入所支援30名）

(人)

年齢	性別	項目 年度		年間利用者延数		月平均利用者数		3月31日現在利用者数		入所		退所	
		25	26	25	26	25	26	25	26	25	26	25	26
9歳以下	男	43	2	3.6	0.2	4	1	1	1				
	女												
10～14歳	男	23	68	1.9	5.6	3	6	2	1				
	女	12		1.0		1							
15～17歳	男		12		1.0		1					1	
	女		14		1.2		2		1				
18～19歳	男	12		1.0		1							
	女	12	12	1.0	1.0	1	1						
20～24歳	男	36	36	3.0	3.0	3	3					1	
	女	12	12	1.0	1.0	1	1						
25～30歳	男	20	12	1.7	1.0	1	1				1		
	女	40	24	3.3	2.0	3	2			1			
31歳以上	男	72	60	6.0	5.0	6	5					1	
	女	76	84	6.3	7.0	6	7(2)			1	2(2)		
計	男	206	190	17.2	15.8	18	17	3	2	1	3		
	女	152	146	12.6	12.2	12	13(2)		1	2	2(2)		
合計		358	336	29.8	28.0	30	30(2)	3	3	3	5(2)		

注) () 内は、3月31日付退所者の再掲。

就労支援施設（利用定員 生活介護20名 就労継続支援B型60名 施設入所支援40名）

(人)

年齢	性別	項目 年度		年間利用者延数		月平均利用者数		3月31日現在利用者数		入所		退所	
		25	26	25	26	25	26	25	26	25	26	25	26
20～29歳	男		10		0.8		1			1			
	女	12	12	1.0	1.0	1	1						
30～39歳	男	108	96	9.0	8.0	9	8(1)	2				1(1)	
	女	36	36	3.0	3.0	3	3	2					
40～49歳	男	84	85	7.0	7.1	7	8	2	1			1	
	女	50	60	4.2	5.0	5	5(2)	2				2(2)	
50～59歳	男	47	36	3.9	3.0	4	3	1		1	1		
	女	63	48	5.3	4.0	5	4			1			
60～69歳	男	12	12	1.0	1.0	1	1						
	女	27	24	2.3	2.0	2	2			1			
70歳以上	男	24	24	2.0	2.0	2	2						
	女	12	24	1.0	2.0	1	2						
計	男	275	263	22.9	21.9	23	23(1)	5	2	1	3(1)		
	女	200	204	16.7	17.0	17	17(2)	4	2	2	2(2)		
合計		475	467	39.6	38.9	40	40(3)	9	2	3	5(3)		

注) () 内は、3月31日付退所者の再掲。

共同生活援助事業所（利用定員 共同生活援助53名）

（人）

年齢	性別	項目 年度	年間利用者延数		月平均利用者数		3月31日現在者数		入所		退所	
			25	26	25	26	25	26	25	26	25	26
19歳以下	男		24	6	2.0	0.5	2					
	女		3		0.3							
20～29歳	男		34	44	2.8	3.7	2	4		1		
	女		33	42	2.8	3.5	3	4		1		
30～39歳	男		20	28	1.7	2.3	2	3				
	女		61	60	5.1	5.0	5	5				
40～49歳	男		57	60	4.8	5.0	5	5				
	女		47	48	3.9	4.0	4	4				
50～59歳	男		81	73	6.8	6.1	7	6				
	女		129	113	10.8	9.4	11	9	1			
60～69歳	男		36	47	3.0	3.9	3	4				
	女		72	79	6.0	6.6	6	6			1	1
70歳以上	男		36	30	3.0	2.5	3	2				
	女			6		0.5		1				1
計	男		288	288	24.0	24.0	24	24		1		
	女		345	348	28.8	29.0	29	29	1	1	1	2
合計			633	636	52.8	53.0	53	53	1	2	1	2

(3) 事業実績

ア 事業一般

月	支援	保健・衛生	防災対策	施設の社会化等
4	共通	○家族交流食事会		
	生活	○春の旅行 ○外出		
	児童	○家族食事会 ○外出		
	就労	○家族食事会 ○外出		
	グループホーム	○花見		
5	共通	○春の集い	○身長測定 ○検尿 ○血圧測定	○さくら市一斉清掃
	生活	○春の旅行 ○外出		
	児童	○特別支援学校運動会 ○外出		
	就労	○外出		
	グループホーム			
6	共通		○子宮ガン検診 ○血液検査	○初任者研修（教員） ○相談援助実習（専門学校）
	生活	○春の旅行 ○外出 ○家族交流食事会		
	児童	○春の旅行 ○外出		
	就労	○外出		
	グループホーム	○旅行		
7	共通	○七夕 ○「えりのあ」与一福祉まつり	○乳ガン検診 ○子宮ガン検診 ○害虫駆除	○「えりのあ」与一福祉まつり参加 ○相談援助実習（専門学校） ○保育実習（学生） ○介護等体験（学生）
	生活	○外出 ○あざみ祭り ○社会見学		
	児童	○外出		
	就労	○家族食事会 ○外出		
	グループホーム			
8	共通	○夏期家族交流	○子宮ガン検診	○南那須特別支援学校説明会参加 ○産業現場等における実習（富屋特別支援学校） ○サロン講座
	生活	○外出		
	児童	○納涼祭 ○学童旅行		
	就労	○外出 ○利用者食事会		
	グループホーム			
9	共通		○消防設備点検 ○総合防災訓練 ○避難訓練（GH）	○初任者研修（教員） ○相談援助実習（短大）
	生活	○秋の旅行 ○外出		
	児童	○外出		
	就労	○秋の旅行 ○外出		
	グループホーム			

月	支 援	保健・衛生	防災対策	施設の社会化等	
10	共通	○さくら市福祉まつり ○桜ふれあいの郷まつり (地域交流) ○栃木県障害者スポーツ大会 ○栃木県障害者文化祭	○検尿 ○血圧測定 ○心電図検査		○さくら市福祉まつり参加 ○初任者研修(教員) ○サロン講座 ○産業現場等における実習 (南那須、富屋特別支援学校)
	生活	○秋の旅行 ○外出			
	児童	○外出			
	就労	○外出			
	グループホーム				
11	共通		○インフルエンザ予防 接種	○ガス設備・器具点検	○初任者研修(教員) ○南那須特別支援学校 「こぶし祭」参加 ○介護等体験(学生) ○産業現場等における実習 (国分寺特別支援学校) ○サロン講座
	生活	○秋の旅行 ○外出			
	児童	○支援学校こぶし祭 ○外出			
	就労	○秋の旅行 ○外出			
	グループホーム	○支援センターふれあい交流会			
12	共通	○冬季家族交流 ○クリスマス会	○血液検査 ○前立腺ガン検診 ○胃ガン検診 ○インフルエンザ予防 接種		○サロン講座 ○群馬県安中市自立支援協議 会施設見学 ○産業現場等における実習 (国分寺、那須特別支援学 校)
	生活	○外出			
	児童	○家族食事会 ○那須烏山市マラソン大会 ○クリスマス会			
	就労	○外出(映画)			
	グループホーム	○クリスマス会			
1	共通		○害虫駆除	○消防設備点検	○サロン講座 ○産業現場等における実習 (国分寺特別支援学校)
	生活	○新年会 ○外出 ○利用者食事会			
	児童	○外出			
	就労	○外出			
	グループホーム				
2	共通	○節分			○産業現場等における実習 (富屋特別支援学校) ○さくら市一斉清掃(GH) ○産業現場等における実習 (国分寺、富屋、那須特別 支援学校)
	生活	○外出 ○新年会			
	児童	○外出 ○支援学校公開授業			
	就労	○外出			
	グループホーム	○映画鑑賞会			
3	共通	○ひなまつり会 ○家族交流食事会		○総合防災訓練 ○消防設備総合点検 ○避難訓練(GH) ○消防設備点検 (GH)	
	生活	○外出			
	児童	○外出 ○支援学校卒業式 ○支援学校高等部入学者選抜			
	就労				
	グループホーム	○総会 ○映画鑑賞会			
定 例		○誕生会(月1回) ○リハビリテーション(毎日)	○嘱託医診療 内科(月2回) 整形外科(月2回) ○体重測定(月1回) ○歯科治療(週1回) ○理髪(月1回)	○避難訓練(月1回) ○消火栓点検 (年2回) ○消火器、誘導灯点検 (毎日) ○防災委員会 (年2回)	○学生施設実習(随時) ○体育館・グラウンドの地域へ の貸出し ○総合防災訓練の地域への連絡 ○イベント等での生産物販売 (20回)

イ 就労支援事業

(ア) 農園部

区分	年度 項目	25		26	
		出荷量 (kg)	出荷額 (円)	出荷量 (kg)	出荷額 (円)
果樹科		1,749.7	758,792	1,954.6	760,449
農産科		20,219.1	7,514,938	19,838.5	7,384,808
合計		—	8,273,730	—	8,145,257

(イ) 受託部

区分	年度 項目	25		26	
		個数	出荷額 (円)	個数	出荷額 (円)
加工科		3,891,653	4,010,341	3,769,839	5,462,045
クリーニング科			2,161,345		2,261,412
除草作業			1,061,623		1,678,792
合計		—	7,233,309	—	9,402,249

(ウ) 製造部

区分	年度 項目	25		26	
		個数	出荷額 (円)	個数	出荷額 (円)
焼き菓子		32,382	1,347,890	28,643	1,450,390
パン		27,093	2,375,290	27,012	2,373,600
合計		—	3,723,180	—	3,823,990

(エ) 雑収入

区分	年度 項目	25		26	
		個数	出荷額 (円)	個数	出荷額 (円)
資源ごみリサイクル			29,388		39,105
原木保証料			3,000		0
レジ袋			0		42
合計		—	32,388	—	39,147

(カ) 工賃

(円)

区分	年度	就労継続支援B型		生活介護	
		25	26	25	26
総支給額		10,699,009	11,072,456	6,292	2,301
支給人数		61人	61人	9人	6人
平均支給額		175,394	181,516	699	384
最高支給額		256,757	280,618	2,200	651
最低支給額		97,584	78,595	99	150

注1) 平成25年度の生活介護（生産活動）については、平成25年12月1日からの実績。

注2) 各事業の最高及び最低支給額は、年度を通してその事業を利用した者の場合を示す。

ウ その他の事業

(人)

区分	項目	経理区分	延人数	実人数	備考
短期入所事業 (介護給付費)	生活		597 (349)	12 (16)	福祉型Ⅰ 267 (335) 福祉型Ⅲ 11 福祉型Ⅱ 319 (14)
	児童		31 (49)	4 (7)	福祉型Ⅲ 31 (49)
	就労		362 (481)	5 (2)	福祉型Ⅰ 60 (208) 福祉型Ⅱ 302 (273)
	計		990 (879)	20 (28)	
日中一時支援事業 (地域生活支援事業)	生活		2,071 (1,849)	26 (24)	4時間未満 H25 72.0% H26 68.4%
			724 (537)	22 (23)	4時間以上8時間未満 H25 20.9% H26 23.9%
			232 (182)	17 (19)	8時間以上 H25 7.1% H26 7.7%
	計		3,027 (2,568)	27 (25)	
	グループホーム		83 (82)	1 (1)	4時間未満
職場適応援助者事業 (ジョブコーチ)	グループホーム	利用者支援		57件 (77件)	高齢・障害者雇用支援機構の職場適応援助者として、第1号ジョブコーチの配置
		ケース会議等		14件 (16件)	
障害者就業・生活支援センター	グループホーム	相談支援件数		3,305件 (3,307件)	平成19年度から県の委託(プレ) 平成20年度から国の採択を受け実施 平成23年度から就業支援担当1名増
		個別支援計画書作成件数		53件 (53件)	
		基礎訓練件数		3件 (6件)	
		職場実習件数		31件 (34件)	
		就職件数		52件 (53件)	
		相談・支援を行った事業所数		100か所 (104か所)	
		事業主相談・支援件数		576件 (538件)	
相談支援事業	グループホーム		1,102 (1,291)	94件 (84件)	さくら市受託事業
		計画相談支援		490件 (230件)	サービス利用支援 277件 (125件) 継続サービス利用支援 213件 (105件)
		地域相談支援		5件 (8件)	地域移行支援
		障害児相談支援		48件 (4件)	障害児支援利用援助
		機関紙発行		1回 (1回)	施設単独事業
		ボランティア講座		1回 (1回)	
障害支援区分認定調査業務	グループホーム			27 (24)	さくら市受託事業
移動支援事業	グループホーム		208 (346)	54 (54)	契約市町 18 (18)
栃木県障害者相談支援ネットワーク推進事業	グループホーム	スーパーバイズ		37 (37)	相談支援員等の関係者への指導・助言
		事例検討会		11回 (22回)	個別ケースの支援方法や事例検討会の進め方への指導・助言
		相談支援連携調整会議		6回 (12回)	相談支援員のスキルアップと地域課題の抽出
		相談支援員連絡会		14回 (21回)	相談支援専門員の情報交換
		地域自立支援協議会		80回 (106回)	市町支援・助言及び地域課題の抽出 (全体会・専門部会・事務局会議等含む)
		栃木県自立支援協議会研修検討会		39回 (33回)	研修の企画・運営・講師 (新任者研修及び現任者研修)
福祉サロン	グループホーム		1,175 (1,141)	196 (154)	GH利用者 978人 (83.2%) 在宅障害者 91人 (7.8%) 地域住民 106人 (9.0%)
余暇支援	グループホーム			15回 (14回)	施設単独事業

注) ()内は、平成25年度の実績を示す。

5 障害者支援施設 清風園

(1) 事業執行概要

利用者の自己選択と自己決定及び人格の尊重を基本に、次の事業を重点的に行った。

- ア 生活介護、就労継続支援の日中活動と施設入所支援については、利用者の状況に応じて支援内容の見直し検討を行い、質の高いサービス提供に努めた。
- イ 在宅障害者とその家族には、短期入所事業と生活介護の併用利用ができるよう援護の実施者に働きかけることや他サービス利用後に日中一時支援事業が利用できるよう調整する等、利用者や家族が主体的に当園のサービス利用ができるように努めた。
- ウ 利用者サービスの質の向上としては、利用者や家族会代表を構成員に加えた「清風園権利擁護委員会」を設置し、利用者の権利擁護に関する体制を強化した。
また、介護技術等に関する研修を受講することで、職員の支援の質の向上に努めた。
- エ 利用者の健康管理については、嘱託医や協力医療機関との連携を図り、疾病予防と再発防止に努めるとともに、看護師による職員研修を行い、安全で質の高い医療的ケアの提供に努めた。
また、管理栄養士による臨床検査結果を踏まえた栄養管理、個別の栄養相談を継続するとともに、看護師や生活支援員と連携し、摂食状況の変化に留意した個々のケアに努めた。
- オ 事故防止や安全確保については、アクシデント・インシデント報告により再発防止を図るとともに、苦情に対しては迅速な対応と利用者自治会や家族会の協力を得て話しやすい環境づくりに努めた。
また、職員に対して障害者虐待防止法に関する内部研修を継続して実施することにより、虐待防止に対する再確認と周知に努めた。
- カ 地域との交流については、シルバー大学生や中学生等の施設体験研修を積極的に受け入れ、各行事ではボランティアの積極的な活用に努めた。
また、清風園の広報誌「清風」を定期的に発行し、施設の情報を利用者及びその家族に周知した。
- キ 就労支援事業については、さくら市役所をはじめ、企業や各種イベントでの販売を通し、自主製品の販路の確保に努めた。
- ク 地域生活への移行については、対象者の身体状況及び意識の変化に留意し随時アセスメントを実施する等地域生活移行に向けた意識付けを行った。
- ケ 施設建替整備については、利用者の安全確保を最優先とし、振動、騒音等利用者の生活の不便を最小限にするよう配慮しながら、第1期工事として管理棟、訓練棟及び体育館兼講堂の解体工事を実施するとともに、第2期工事の居住棟新築工事に着手した。

(2) 利用者の状況

生活支援施設（利用定員53名 生活介護53名 施設入所支援50名）

(人)

年 齢	性 別	項 目		年 間 延		月 平 均		3月31日現在		入 所		退 所	
		年 度		利 用 者 数		利 用 者 数		在 籍 者 数		入 所		退 所	
		25	26	25	26	25	26	25	26	25	26		
18～29歳	男		7		0.6		1		1				
	女												
30～39歳	男												
	女												
40～49歳	男	29	42	2.4	3.5	3	4	2	2	1			
	女	12	12	1.0	1.0	1	1						
50～59歳	男	36	48	3.0	4.0	3	4						
	女	60	48	5.0	4.0	5	4						
60～69歳	男	178	168	14.8	14.0	16	14	3	1	1	2		
	女	72	84	6.0	7.0	6	7						
70歳以上	男	99	88	8.3	7.3	8	7			1	2		
	女	96	103	8.0	8.6	8	9		1				
計	男	342	353	28.5	29.4	30	30	5	4	3	4		
	女	240	247	20.0	20.6	20	21		1				
合 計		582	600	48.5	50.0	50	51	5	5	3	4		

就労支援施設（利用定員65名 生活介護45名 就労継続支援B型20名 施設入所支援50名）(人)

年 齢	性 別	項 目		年 間 延		月 平 均		3月31日現在		入 所		退 所	
		年 度		利 用 者 数		利 用 者 数		在 籍 者 数		入 所		退 所	
		25	26	25	26	25	26	25	26	25	26		
18～29歳	男		1		0.1		1		1				
	女												
30～39歳	男		1		0.1		1		1				
	女	24	24	2.0	2.0	2	2						
40～49歳	男	44	44	3.7	3.7	4	4	1	1		1		
	女	24	24	2.0	2.0	2	2						
50～59歳	男	133	117	11.1	9.8	12	10	1	1				
	女	24	24	2.0	2.0	2	2						
60～69歳	男	214	227	17.8	18.9	17	18	1		3	1		
	女	60	36	5.0	3.0	5	3						
70歳以上	男	48	60	4.0	5.0	4	5						
	女	24	41	2.0	3.4	2	3				1		
計	男	439	450	36.6	37.5	37	39	3	4	3	2		
	女	156	149	13.0	12.4	13	12				1		
合 計		595	599	49.6	49.9	50	51	3	4	3	3		

(3) 事業実績

ア 事業一般

月	支 援	保健・衛生	防災対策	施設の社会化等
4	共通			
	生活	○外出 ○花見		
	就労	○外出 ○花見		
5	共通	○食事会（園主催）	○結核検診	○自主製品販売（がんセンター）
	生活	○外出		
	就労	○外出		
6	共通	○子宮ガン、乳ガン検診（6～9月） ○検尿	○普通救命講習	○施設体験実習（さくら清修高校） ○自主製品販売（シルバー大学校、那珂川苑県民の日イベント）
	生活	○宿泊旅行（茨城県） ○小犬とのふれあい教室		
	就労	○那珂川苑泊		
7	共通	○血液検査 ○肺活量検査		○職場体験学習（氏家中学校） ○職場体験研修（今市特別支援学校教諭） ○自主製品販売（がんセンター）
	生活	○外出 ○那須CHINDON組合公演		
	就労			
8	共通	○家族交流食事会（さくら会主催）		○地域活動実習（シルバー大学校） ○施設見学（のざわ特別支援学校生・教諭） ○自主製品販売（シルバー大学校文化祭、那須赤十字病院）
	生活	○外出 ○劇団玉手箱公演		
	就労	○お盆中楽しみ会		
9	共通	○栃木県障害者スポーツ大会	○総合防災訓練	○施設見学（のざわ特別支援学校生・教諭） ○自主製品販売（がんセンター、那珂川苑&グリーンヒルふれあい祭）
	生活	○外出 ○食事会		
	就労	○外出		
10	共通	○栃木県障害者文化祭 ○さくら市福祉まつり	○結核検診 ○乳ガン検診	○施設体験実習（さくら清修高校） ○施設実習（のざわ特別支援学校） ○施設見学（わかくさ） ○自主製品販売（ねんりんピック、さくら市福祉祭、栃木県障害者文化祭）
	生活	○外出		
	就労	○ミニ映画会		
11	共通	○インフルエンザ予防接種 ○検尿		○自主製品販売（さくら市体育祭）
	生活	○外出 ○福祉劇団やすらぎ公演		
	就労	○外出 ○映画鑑賞会（ベルモール）		
12	共通		○普通救命講習	○施設体験実習（さくら清修高校） ○自主製品販売（ナイスハートバザール）
	生活	○クリスマス会&忘年会		
	就労	○外出 ○クリスマス会&忘年会		
1	共通			○施設実習（今市特別支援学校） ○自主製品販売（がんセンター・さくら市役所）
	生活	○新年会		
	就労	○新年会		
2	共通	○食事会（さくら会主催）		○福祉職体験学習（県社協） ○自主製品販売（那須赤十字病院）
	生活	○節分		
	就労	○マジックショー		
3	共通	○検尿	○総合防災訓練	
	生活	○ひなまつり ○家族食事会・懇談会		
	就労			
定例	共通	○嚥下医診療（内科・整形外科（月2回） ○体重・血圧測定（毎月） ○歯科治療（随時）	○避難訓練（月1回） ○消防設備保守点検（年2回） ○火気・閉鎖障害点検（毎日）	○那珂川苑委託販売（通年） ○学生施設実習（随時） ○国際医療福祉大学 ○栃木介護福祉士専門学校 ○宇都宮短期大学 ○矢板高校
	生活	○小グループ活動（毎週水曜日） ○映画会		
	就労	○映画会		

イ 就労支援事業

(ア) 受託部

区 分	年度 項目	25		26	
		個 数	金 額 (円)	個 数	金 額 (円)
加 工 科		1,910,805	7,353,626	2,097,399	8,724,257
部 品 加 工		947,206	4,066,945	973,154	4,227,438
線 香 箱 詰 め 等		472,908	1,833,262	526,535	2,041,767
ゴ ム 製 品 の 加 工		256,343	675,187	383,072	1,490,322
ニ ラ 袋 詰 め		190,820	601,078	156,056	505,615
作 業 用 製 品 袋 詰 め		23,900	112,350	2,600	28,080
看 板 ス テ ッ カ ー 貼 付		6	13,500	5	15,000
A 4 用 紙 折			0	9,000	18,000
ね ん り ん ビ ッ ク メ ダ ル 箱 詰			0	16,482	381,568
水 道 パ ッ キ ン バ リ 取 り			0	30,495	16,467
ク リ ー ニ ン グ 科			1,028,160		1,057,536
リ サ イ ク ル 科		17,690	152,779	18,210	175,283
合 計			8,534,565		9,957,076

(イ) 製造部

区 分	年度 項目	25		26	
		個 数	金 額 (円)	個 数	金 額 (円)
ミ ニ 門 松		11	33,000	3	9,000
門 松		13	78,100	2	40,000
お 手 拭 き ド レ ス		241	114,950	226	112,852
小 物		1,368	294,210	1,425	287,750
合 計		1,633	520,260	1,656	449,602

(ウ) 工 賃

(円)

区 分	年 度	生活介護		就労継続支援B型	
		25	26	25	26
支 給 額		4,235,607	4,707,640	3,858,505	4,192,504
支 給 人 数		44人	47人	20人	23人
1 人 当 たり 平 均 支 給 額		96,264	100,163	192,925	182,283
最 高 支 給 額		202,591	239,534	278,660	300,634
最 低 支 給 額		35,016	15,155	85,379	97,463

注) 各事業の最高及び最低支給額は、年度を通してその事業を利用した者の場合を示す。

ウ その他の事業

事 業 名	施 設 名	期 間	延利用日数 (日)	実利用人数 (人)	備 考
短 期 入 所 事 業	生活支援施設	通 年	920 (973)	9 (12)	平成7年 4月開始
	就労支援施設		409 (406)	4 (4)	
	計		1,329 (1,379)	13 (16)	
日 中 一 時 支 援 事 業	生活支援施設	通 年	273 (237)	3 (4)	平成18年 10月開始
	就労支援施設		9 (1)	1 (1)	
	計		282 (238)	4 (5)	

注) () 内は、平成25年度の実績を示す。

6 保育所 宝木保育園

(1) 事業執行概要

宝木保育園の基本方針及び保育所保育指針に基づき、子どもたちの最善の利益を考えた保育サービスの提供に努めた。新園舎完成に伴い、新たな保育内容を展開することで事業の一層の充実を図るとともに、地域子育て支援拠点事業「子育てサロン宝木」を再開した。

ア 延長保育、休日保育及び一時保育を実施することにより、就労形態の多様化に対応した保育サービスの充実を図った。

イ 子ども一人ひとりの豊かな個性・情操を高めることを目的に、「こころ・からだ・げんき・宝木っ子」と題し、外部講師によるリトミック・英語・体操を行う時間を定期的に設定し、カリキュラムのグレードアップを図ることで日々の保育の充実を図った。

ウ 保育体験を通年で実施する等保護者を交えての行事を重視し、保護者に子どもたちの日常を見てもらうことで、家庭保育に対する理解を深める機会を多く設けることができた。

エ 県立聾学校幼稚園との交流保育や地域の小学校及び保育所の行事への参加交流を積極的に行ったほか、世代間交流事業では、地域のシルバーボランティアによる絵本の読み聞かせ、さんばの交流、四季折々の行事に参加してもらい、交流を深めることができた。

オ 安全な食事提供を目的として、日々の食材管理や放射線量の測定を実施した。食育については、「心を育てる食事」を目標とし、「食」に対する感謝の気持ちを育むことができた。

カ 地域子育て支援拠点事業を再開し、地域の親子が気軽に利用できるよう努めるとともに、子育てに関する情報発信や相談の受入れ等地域の子育て拠点としての役割を果たした。

(2) 利用者の状況 (利用定員 160名)

(人)

年 齢	項 目 年 度	年 間 延 利 用 者 数		月 平 均 利 用 者 数		3月31日現在 在 籍 者 数		入 所		退 所	
		25	26	25	26	25	26	25	26	25	26
乳 児	0歳児	100	186	8.3	15.5	9	19	10	18	1	
	1歳児	308	327	25.7	27.2	26	29	9	22		2(1)
	2歳児	358	362	29.8	30.2	30	31	5	5	6(2)	4(4)
幼 児	3歳児	336	367	28.0	30.6	28	30	3	4		5(3)
	4歳児	321	348	26.8	29.0	26	29		1	3(1)	1(1)
	5歳児	312	304	26.0	25.3	26	25		1	26(26)	26(25)
合 計		1,735	1,894	144.6	157.8	145	163	27	51	36(29)	38(34)

注) () 内は、3月31日付退所児の再掲。

(3) 事業実績

事業一般

月	支 援	保健・衛生	防災対策	施設の社会化等
4	○入園式 ○お花見会（卒園児との交流） ○保護者会総会 ○保護者とのクラス懇談会			
5	○こどもの日のつどい ○園外保育（3・4・5歳児）	○健康診断 ○ぎょう虫検査 ○尿検査		○シルバー大学校中央校実習受入
6	○園舎お披露目会 ○春の遠足（3・4・5歳児） ○保育参観（4・5歳児）	○歯科検診 ○害虫駆除	○交通安全教室	
7	○夏まつり（卒園児・高齢者との交流） ○七夕まつり ○保護者体験保育（2月まで） ○プール開き ○聾学校との交流	○放射性物質検査（調理済食材）		
8	○宮っこパレード（4・5歳児） ○お泊り保育（5歳児）		○電気設備安全点検	
9	○うさぎ組遠足（2歳児）	○害虫駆除	○消防用設備保守点検	○宇都宮市北生涯学習センター文化祭（作品展示）
10	○運動会（卒園児・高齢者との交流） ○園外保育（3・4・5歳児） ○園外保育（4歳児） ○保育参観（4・5歳児）			○宮っこフェスタ
11	○マラソン大会（聾学校との交流） ○修園旅行（5歳児） ○クラス懇談会・親子観劇会	○健康診断 ○ぎょう虫検査 ○尿検査		○栃木県障害者文化祭
12	○おゆうぎ会（卒園児との交流） ○クリスマス会（高齢者との交流） ○親子レクリエーション（3歳児）	○害虫駆除	○防犯教室	○警察学校見学
1	○お正月あそび（卒園児・高齢者との交流） ○お別れ遠足（高齢者との交流） ○保護者とのクラス懇談会（1歳児）	○歯科検診	○総合防災訓練	○あゆみ北保育園コンサート
2	○節分 ○人間びな撮影（高齢者との交流） ○保護者との個人懇談 ○新入園児説明会及び面接 ○聾学校との交流		○不審者想定訓練	
3	○ひなまつり ○お別れ会食 ○卒園式		○不審者想定訓練 ○消防用設備保守点検	
定例	○誕生会（月1回） ○聾学校幼稚部との交流保育 ○リトミック教室（年10回） ○英語教室（年9回） ○体操教室（年4回） ○食育（食育だより年3回発行）	○身体測定（月1回） ○空間放射線量率測定（月1回） ○環境整備（月1回）	○避難訓練（月1回） ○消火器取扱訓練（月1回） ○機械警備委託	○宮っこチャレンジ受入 ○学生保育実習 ○子育て相談事業 ○ボランティア受入 ○高校生体験学習 ○福祉職体験学習 ○朗読ボランティア（月1回） ○図書ボランティア（毎週金曜日） ○わくわく体験受入

(1) 事業執行概要

指定管理者として、障害者とその家族が気軽に宿泊、休養し、レクリエーション等を通して相互のふれあいと親睦を深められるよう次の事業を重点的に行った。

ア 利用者からのアンケートの活用により利用者ニーズの的確な把握を行い、専門的で質の高いサービスの提供に努めた。

イ 利用者の個々の障害に応じたきざみ食や減塩食等の提供に努め、家庭的な温かみのある食事の提供に努めた。

ウ 専門性を有する職員による入浴介助サービスを行い、日々の介護にあたる家族の介護疲れを和らげるように努めた。

エ 障害者の雇用促進や就労訓練に積極的に取組むとともに、障害者の作品販売コーナー「福祉の店」の品揃えの充実や、地元工芸作家の作品展示・販売を行い特色ある施設づくりを推進した。

オ 利用者楽しく過ごしていただけるよう客室前廊下の壁面を「那珂川苑ギャラリー」と称して、障害者の作品やシルバー大生、地元作家等の作品（絵画、写真、書、切り絵等）を常設展示し、美術鑑賞の場と作品発表の場の機会を提供した。

カ 誘客対策として、県内の福祉施設、特別支援学校等のほか、近県の市・区役所や社会福祉協議会等を訪問し利用の促進に努めた。

キ 「那珂川苑&グリーンヒルふれあい祭」を実施し、施設のイメージアップ及び馬頭温泉郷のアピールを行ったほか、お楽しみ演芸会（マジックショー）や日曜朝市、そば打ち体験、小砂焼絵付け体験等、様々な新規イベントを実施した。

ク 宿泊者50万人達成記念事業を実施し、開設以来50万人目となった宿泊利用者へ記念品を贈呈し謝意を表した。

ケ 閑散期には地元の名物である温泉トラフグ料理を割り引いて提供し、利用者の確保に努めた。

コ 館内外の点検や清掃、施設整備及び防災対策を計画的に実施し、障害者が安全で快適に利用できる施設づくりに努めた。

(2) 事業実績

ア 宿泊利用状況（利用定員 80名）

(人)

利用者別	項目 年度	年間利用者数		月平均利用者数	
		25	26	25	26
障害者	大人	8,219 (69.4)	8,939 (73.0)	684.9	744.9
	小人	241 (2.1)	206 (1.7)	20.1	17.2
	計	8,460 (71.5)	9,145 (74.7)	705.0	762.1
その他	大人	3,201 (27.0)	2,896 (23.7)	266.8	241.3
	小人	179 (1.5)	193 (1.6)	14.9	16.1
	計	3,380 (28.5)	3,089 (25.3)	281.7	257.4
合 計		11,840 (100.0)	12,234 (100.0)	986.7	1,019.5

注) () 内は、構成比 (%) を示す。

イ 宿泊稼働率状況

(%)

区分	項目 年度	年間稼働率	
		25	26
定員稼働率		40.5	41.9
客室稼働率		70.1	71.5

ウ 休憩利用状況

(人)

区分	項目 年度	年間利用者数		月平均利用者数	
		25	26	25	26
一律		2,394	2,576	199.5	214.7

エ 送迎バス利用状況

区分	項目 年度	年間運行回数(回)		年間走行キロ数(km)		年間利用者数(人)	
		25	26	25	26	25	26
利用回数等		155	136	21,980	20,292	3,450	2,984

オ 入浴介助実施状況

(人)

区分	年度	25	26
実人数		63	69
延人数		122	137

カ イベントの実施状況

実施年月日	イベント名	備考
毎月第1土曜日	まほろば語り	那珂川町文化協会語り部部
毎月第3土曜日	お楽しみ演芸会	マジックショー
毎週日曜日	日曜朝市	地元野菜等の販売
26. 6. 6	宿泊者50万人達成記念事業	50万人目の宿泊利用者へ記念品贈呈
26. 6. 14・15	「県民の日」無料開放	延利用者458名 餅の配布、リハビリ相談会、カラオケ、草花苗販売、焼鳥販売等
26. 7. 10 26. 12. 4	小砂焼絵付け体験	希望する宿泊利用者を対象に小砂焼の絵付け体験を実施

実施年月日	イベント名	備考
26. 8. ~	二次会場（ラウンジ） カラオケ無料デー	宿泊利用者が20名以下の日は、宿泊者のカラオケ無料
26. 8. 1~31	花火セットサービス	夏休み期間中、小学生以下の子ども連れ家族等に花火セットを提供
26. 9. 7	那珂川苑&グリーン ヒルふれあい祭	地域との交流、施設のイメージアップ及び馬頭温泉郷のアピール
26. 10. 21 26. 11. 11	そば打ち体験	希望する宿泊利用者を対象に霧ヶ岳そば道場にてそば打ち体験を実施
26. 12. 3~9	障害者の日記念事業	県内福祉施設紹介及び作品販売 紹介施設 清風園・桜ふれあいの郷（さくら市） みつわ工房・あすなる作業所（那須烏山市） ぼらーれ・那珂川町社協（那珂川町）
26. 12. 15~27. 3. 3	甘酒サービス	チェックイン時無料サービス
27. 1. 1~3	新春企画	初詣送迎サービス、餅の配布、ドリンクサービス
27. 1. 26~2. 28	開設日記念事業	記念品贈呈

キ 保健衛生

実施事項	実施年月日	備考
健康診断	26. 12. 9	全職員 栃木県保健衛生事業団
検便	26. 8. 13	全職員 栃木県保健衛生事業団
	27. 2. 4	
	毎月1回	調理関係職員 栃木県保健衛生事業団

ク 防災対策

実施事項	実施年月日	備考
総合防災訓練	26. 9. 16	那珂川苑
	27. 2. 13	那珂川苑（消防署立会い）
消防設備保守点検	26. 8. 30	栃木県消防設備保守協会
	27. 2. 10	

8 とちぎ健康づくり・とちぎ生きがいづくりセンター

(1) 事業執行概要

ア とちぎ健康づくりセンター

指定管理者として、県民一人ひとりの健康づくり実践活動の推進を目的とし、自主的な健康づくりをその動機付けから実践まで総合的に支援し、県民の健康づくりに寄与した。

平成26年度においては、栃木県健康増進計画「とちぎ健康21プラン（2期計画）」の4つの基本方向や「健康長寿とちぎづくり推進県民会議」における重点プロジェクトの趣旨に沿った事業を展開した。

また、幅広く広報活動を行い、利用率の向上を図るとともに効率的な運営に努めた。

なお、次の事項について重点的に事業を実施した。

(ア) 施設利用講習及び施設利用カードの更新

施設利用に当たっては、施設利用講習を要件とし、安全で効果的な運動実践のきっかけづくりや運動習慣化につなげるための説明及びトレーニング講習を行った。

また、施設利用カードに3年の有効期間を設け、更新時に健康状態の確認を行い、必要な者には保健師等による面接を徹底した。

(イ) 体力測定

利用者が自分の体力を知り、安全で効果的な運動実践ができるよう、希望者に体力測定を実施した。

(ウ) 運動実践メニューの作成

体力測定受検者のうち、希望者には、個人の目的や健康状態に応じて運動実践メニューを作成し、健康づくりを効果的・効率的に継続できるよう支援した。

(エ) 健康づくり相談等

施設利用者及び県民を対象に、運動・栄養・休養等の個別相談指導を行った。

さらに、協力機関の栃木県保健衛生事業団と連携し、医師による健康相談やミニ健康まつりを開催した。

(オ) 施設利用指導

施設利用者を対象に、温水プール、トレーニング室、ランニングデッキ及びリラクゼーションルームの施設利用指導を行った。

また、小人が利用するプールでの監視を強化し、安全に利用できるよう努めた。

(カ) 健康づくり講座

運動の安全性・有効性や生活習慣病予防、介護予防、親子健康づくり等の講座を開催し、健康づくりのための運動習慣の動機付けを行った。

(キ) 集団指導

運動の継続的な実践を目的に、施設利用料金の中で参加できる集団指導を実施した。

(ク) 市町等支援

市町の健康づくり事業支援及び各種団体等からの要請に応じ、講師として職員を派遣した。

また、健康長寿とちぎづくり推進条例の施行に伴い「元気ニコニコ体操」を考案し、普及

啓発に努めた。

さらに、「第27回全国健康福祉祭とちぎ大会（ねんりんピック栃木2014）」においては、体組成測定と簡単な運動を紹介するブースを出展した。

(ケ) センター施設等の維持管理

健康づくりセンター及び生きがいづくりセンターの利用者が安全・安心して利用できるよう、施設内外の設備整備及び環境整備を行い、施設の適正な維持管理に努めた。

(コ) 情報提供及び広報活動

県所管課等との連携により、健康づくりキャンペーン等に合わせ、健康づくりに関する様々な情報を健康情報コーナーで紹介した。

また、ホームページや情報誌「さんぽ」（年2回発行）等において情報の提供に努めた。

さらに、生活情報サイトを活用した広報活動を実施したほか、誘客対策として健康の森を題材にした写真展を開催した。

(サ) 利用者サービスの向上

アンケート調査等により利用者の施設に対する満足度や要望を把握することで、業務の改善を図るとともに、質の高いサービスの提供を目指して魅力ある施設づくりに努めた。

また、快適な利用環境を提供するため、利用者からの要望や苦情等に誠意を持って迅速かつ適切に対応するとともに、家庭の日における運動フロア無料開放や施設の物品の整備及び拡充を行い、利用者サービスの向上に努めた。

(シ) 連絡調整

入居団体との連絡調整及びリハビリテーションセンター、わかくさ特別支援学校との緊密な連携のもと、防火・防災・防犯対策、喫煙対策等を含む健康の森全体の管理運営に努めた。

イ とちぎ生きがいづくりセンター

高齢者の健やかで生きがいのある人生を支援し、活力ある地域社会を構築するため、栃木県シルバー大学校を運営し、積極的に地域活動を実践する高齢者の養成を図るとともに、高齢社会を豊かに過ごせるよう必要な知識・教養を身に付けるための各種の学習機会を提供した。

また、「第27回全国健康福祉祭とちぎ大会（ねんりんピック栃木2014）」において、総合開会式にシルバー大学校生が参加し、日光和楽踊りを披露した。

(2) 事業実績

ア 健康づくりセンターの利用状況(1)

(時間)

区分	項目 年度	年間利用時間		月平均利用時間	
		25	26	25	26
大会議室		1,446	1,485	120.5	123.8
小会議室		1,409	1,489	117.4	124.1
多目的 フロア	A 全面	843	625	70.3	52.1
	A 2 / 3 面				
	A 1 / 2 面	440	533	36.7	44.4
	A 1 / 3 面				
	B	862	634	71.8	52.8
	C	776	684	64.7	57.0
エアロビクススタジオ		1,025	1,194	85.4	99.5
運動 フロア	全面	432	466	36.0	38.8
	1 / 2 面	495	445	41.3	37.1
	1 / 3 面	539	642	44.9	53.5
	1 / 6 面	163	152	13.6	12.7
合計		8,430	8,349	702.6	695.8

イ 健康づくりセンターの利用状況(2)

(人)

区分	項目 年度	年間利用者数		月平均利用者数	
		25	26	25	26
施設利用講習	大人	2,885	2,743	240.4	228.6
	小人	349	237	29.1	19.8
	計	3,234	2,980	269.5	248.4
施設利用カード 更新	更新者数	200	1,665	66.7	138.8
	面接者数 (再掲)	107	661	35.7	55.1
体力測定		484	400	40.3	33.3
温水プール トレーニングルーム ランニングデッキ リラクゼーションルーム		67,966	74,612	5,663.8	6,217.7
合計		71,884	79,657	6,040.3	6,638.2

注) 施設利用カードの更新については、平成26年1月から実施。

ウ 健康づくりセンターの利用状況(3)

(上段：人、下段：回)

区分	項目 年度	年間利用者数		月平均利用者数	
		25	26	25	26
施設利用講習	受検者数	3,234	2,980	269.5	248.3
	実施回数	236	226	19.7	18.8
体力測定	受検者数	484	400	40.3	33.3
	実施回数	142	123	11.8	10.3
健康づくり講座	受講者数	1,014	949	84.5	79.1
	実施回数	16種 88	16種 79	7.3	6.6
集団指導	受講者数	8,917	12,610	743.1	1,050.8
	実施回数	19種 519	22種 666	43.3	55.5
計	受検者数等	13,649	16,939	1,137.4	1,411.5
	実施回数	985	1,094	82.1	91.2

エ 生きがいづくりセンターの利用状況

(時間)

区分	項目 年度	年間利用時間		月平均利用時間	
		25	26	25	26
講	堂	610	639	50.8	53.3
演習室	A	539	515	44.9	42.9
	B	340	293	28.3	24.4
多目的ホール		529	495	44.1	41.3
教室	A	461	393	38.4	32.8
	B	688	376	57.3	31.3
	C	454	371	37.8	30.9
	D	475	243	39.6	20.3
	E	24	49	2.0	4.1
	F		417		34.8
和室		281	278	23.4	23.2
テニスコート		2,892	3,201	241.0	266.8
県南支所	教室 A	80	91	6.7	7.6
	教室 B	4	10	0.3	0.8
	教室 C	198	200	16.5	16.7
	教室 D	167	94	13.9	7.8
	教室 E				
	教室 F		82		6.8
	演習室	2		0.2	
	和室	80	118	6.7	9.8
	屋外運動場				
	講堂兼体育館				
県北支所	教室 A	208	281	17.3	23.4
	教室 B	158	138	13.2	11.5
	教室 C	162	146	13.5	12.2
	教室 D	118	110	9.8	9.2
	教室 E	48	54	4.0	4.5
	教室 F		72		6.0
	演習室	84	15	7.0	1.3
	和室	90	72	7.5	6.0
	多目的ホール	46	24	3.8	2.0
合計		8,738	8,777	728.0	731.7

オ 栃木県シルバー大学校学生数 (平成27年3月31日現在)

(人)

学校名	35期生			36期生			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
中央校	160	158	318	154	149	303	314	307	621
南校	75	40	115	67	61	128	142	101	243
北校	44	46	90	59	38	97	103	84	187
合計	279	244	523	280	248	528	559	492	1,051

9 高齢者生きがいづくり支援事業

(1) 事業執行概要

ア 情報提供事業

高齢者がいきいきと明るく豊かな生活を送れるよう、情報誌「いきいきとちぎ」を年4回発行し、高齢者情報を中心に、就労、社会活動、スポーツ大会等イベントに関する情報の提供を行った。

イ 生きがい推進員運営事業

高齢者の地域活動への参加促進及び各種施策の普及活動等を行う生きがい推進員の活動をより発展拡充させるため、各市町や関係機関等との連携を深めるとともに、地域文化の伝承や世代間交流の促進を図る伝承講座の開催を支援する等、地域における活動の体制づくりを推進した。

ウ イベント事業

高齢社会がより明るく生きがいのある社会となるよう、高齢者のスポーツ、レクリエーション、文化活動や創作活動等、健康と生きがいづくりの支援を図る各種のイベントを開催した。

10月には、「第27回全国健康福祉祭とちぎ大会（ねんりんピック栃木2014）」へ640名の選手派遣を行い好成績を納めるとともに、他県選手へのおもてなしの役割を果たし、大会の成功に寄与した。

また、同大会の一環として行われた「音楽文化祭」を主管し、地域や世代を超えた参加者の交流を図った。

エ 介護保険制度関連事業

介護保険制度における指定試験実施機関として、介護支援専門員実務研修受講試験を実施した。

また、介護支援専門員の資質向上を目的とした指定研修実施機関として、試験合格者に対する研修及び現任者に対する専門研修、更新研修等を実施した。

オ 賛助会員事業

賛助会員制度の普及と加入を促進するため、当協会が実施する事業の機会に賛助会員制度のPRを行った。

(2) 事業実績

ア イベントの開催状況

イベント名	実施日	実施会場
ねんりんピックとちぎ2014	26. 5. 11～6. 18	とちぎ健康の森他
第27回全国健康福祉祭とちぎ大会（ねんりんピック栃木2014）	26. 10. 4～7	栃木県内各市町
第27回全国健康福祉祭とちぎ大会（ねんりんピック栃木2014）音楽文化祭	26. 10. 5	栃木県総合文化センター

イ 介護支援専門員実務研修受講試験

区分	年度	25	26
実施日		25. 10. 13	26. 10. 26
申込者数（人）		1,803	2,257
受験者数（人）		1,694	2,086
合格者数（人）		259	395
合格率（％）		15.3	18.9

ウ 介護支援専門員研修

研修名	年度		26		備考	
	区分	25	実施日	受講者等（人）		
介護支援専門員実務研修		受講者数 264 修了者数 262	25. 6 ～26. 3	受講者数 385 修了者数 382	26. 6 ～27. 3	介護支援専門員実務研修受講者試験合格者に対する研修
介護支援専門員実務従事者基礎研修		受講者数 79 修了者数 76	25. 8 ～9	受講者数 71 修了者数 65	26. 8 ～9	介護支援専門員として必要な知識、技能を有する介護支援専門員の養成を図る研修
介護支援専門員専門研修（専門研修課程Ⅰ）		受講者数 132 修了者数 126	25. 6 ～7	受講者数 126 修了者数 122	26. 6 ～7	就業後6ヵ月以上の者を対象とし、必要に応じた専門知識、技能の修得を図る研修
介護支援専門員専門研修（専門研修課程Ⅱ）		受講者数 101 修了者数 98	25. 9 ～11	受講者数 210 修了者数 204	26. 9 ～11	就業後3年以上の者を対象とし、必要に応じた専門知識、技能の修得を図る研修
主任介護支援専門員研修		受講者数 85 修了者数 83	25. 12 ～26. 2	受講者数 75 修了者数 71	26. 12 ～27. 2	ケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技能を修得する研修
介護支援専門員更新研修（実務未経験者）		受講者数 91 修了者数 91	25. 6 ～26. 3	受講者数 66 修了者数 64	26. 6 ～27. 3	更新時に定期的な研修受講機会を確保し、専門職としての能力の保持・向上を図る研修
介護支援専門員更新研修（実務経験者）		受講者数 461 修了者数 457	25. 6 ～11	受講者数 348 修了者数 341	26. 6 ～11	
介護支援専門員再研修		受講者数 46 修了者数 46	25. 6 ～26. 3	受講者数 52 修了者数 49	26. 6 ～27. 3	介護支援専門員として必要な知識、技能の再修得を図る研修
合計		受講者数 1,259 修了者数 1,239		受講者数 1,333 修了者数 1,298		